

令和4年8月29日

LRRRI 代表理事 安原一哉



★「エルリ塾」へのご参加のご案内★

LRRRI 会員の皆様

長引く“コロナ禍”ですが、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のことと拝察いたしております。

日頃は、（一社）地域国土強靱化研究所（LRRRI）の活動にご支援とご協力をいただき有難うございます。

すでにご案内させていただきましたように、LRRRI では、会員様サービスの一環として、“技術者教育支援プログラム”を実施しています。令和3年度では、賛助会員様の要請で“グランパ・カズ塾”と称して、「土と基礎地盤と土構造物」に関する課題に関心を持たれている社員の方々に対して、

- ① 実際のお仕事で困っていることや疑問に思っていることの解決に資する
- ② 各種資格取得受験の支援をする

ことを目指した講座を開催いたしました。本講座では、岸田副代表理事、伴理事および安原代表理事で担当し、令和4年6月24日に終了しました。本件は、委託業務と位置付け、期間は、令和4年1月から6月（合計9回）でした。

なお、8月24日の総会後の「LRRRI 交流会」では、岸田副代表理事から概要の紹介をしていただきました（添付 PDF をご参照ください）。

令和3年度に引き続き、本年度は以下の様な計画を立てています。巷間の既成関連講座と比べまして、本講座は

- ① 少人数で face-to-face の対話ができるファミリアな講座であること
- ② 宿題など、個別に対応できること
- ③ ご参加者のご要望によってプログラムを随時変更していくこと

などの特徴を有しておりますので、必ずや、皆様のお役に立ちうるものと確信しております。

本講座は、（一社）茨城県建設コンサルタンツ協会様の共催の下に実施致しますので、会員の方々及び周辺の方々はもちろん、会員外の方々の皆様のご参加を歓迎いたしますので、添付しております WORD 版にてお申し込みください。

以上、ご案内とお願いまで。

＜令和4年度の計画＞

令和3年度の成果を踏まえまして、令和年度は新たなプログラムとして下記2つのプログラムを実施することにいたしましたのでご案内いたします。

【講座内容】

a. 「基礎地盤・土構造物講座」(「グランパ・カズ塾」PART 2)

・初学者のかた、あるいは、復習をされたい方々向を支援いたします。講義、演習、できれば実習も含めますが、学校の講義形式にならないよう、また、at home な雰囲気となるよう留意し、他の講座には見られない内容になるよう、努めてまいります。

・演習問題は、“過去の資格試験問題”を参考にして独自に作成したものを提供いたします。

b. 「ICRT & DX 講座」

・IoT, ICRT(R は, ロボット), および, DX (Digital Transformation) の習熟を目指しておられる方々の支援をさせていただきます。

【プログラム】

: 添付エクセルを参照ください。

【対象者】

- ・LRRI の会員
- ・LRRI の会員からのご紹介のある方
- ・茨城県建設コンサルタンツ協会会員

【参加費】

- ・会 員 : 1名, 1回, 4000円 (1.5時間)
- ・非会員 : 1名, 1回, 6000円 (1.5時間)

【講師陣】

- ・LRRI 内の有資格者 (事情によっては, 外部講師の招聘もあり)

【時期】

- ・期間 : 令和4年10月から令和5年6月まで (原則, 各コース月1回として計9回 or 10回)
- ・曜日 : a. コース (各月の第2水曜日), b. コース (各月の第4火曜日)
- ・時間 : a. コース (17:00 - 18:30), b. コース (未定, 応相談)

【講義方式】

・基本的にオンライン（Zoom）としますが、場合によっては、オンラインとオンサイトのハイブリッドの場合もあります。

・演習問題は、過去の「資格試験問題」を参考にして独自に作成したものを提供いたします。

【参加人数】

10名から30名（20名以上は2班に、同じ講義を月に2回）

【CPD ポイント】

付与させていただくよう、計画中です。

【プログラム】別紙エクセルをご参照ください。

＜ご参考＞

*「資格試験支援コース」について

当初は次のプログラムの立ち上げも併せて考えておりました。

- ・資格試験支援コース：一級施工管理技士，RCCM，技術士，地盤品質判定士などの取得を目指しておられる方をサポートする

本件を令和4年第1回度理事会（役員会）（7月28日）で検討いたしましたところ，各種資格試験の内容と方法が大きく変わっていることから，情報の集約が必要という意見が強く出されましたので，令和4年度は準備期間とし，岸田副代表理事と伴理事が中心となって関係会員を含めたWGを組織して方針を決めることと致しました。WGにつきましては，一部の皆様に，岸田副代表理事からご相談があるかと存じますので，ご協力お願いいたします。

「基礎地盤・土構造物講座」(「グランパカス塾」PART 2) FY2022 プログラム 担当責任者：安原一哉代表理事

回数	年	月日	時間	課題	担当講師		備考
					主担当	副担当	
1	令和4年	10月12日	17:00 - 18:30	土と構造物と地盤： 何を習得するのか？	安原一哉		講義45分，質疑15分，演習30分
2	令和4年	11月9日	17:00 - 18:30	設計と施工に必要な地形と地質の知識<その1>	伴 夏男		講義45分，質疑15分，演習30分
3	令和4年	12月14日	17:00 - 18:30	設計と施工に必要な地形と地質の知識<その2>	助田勅史		講義45分，質疑15分，演習30分
4	令和5年	1月11日	17:00 - 18:30	地盤調査と土質試験： 土のプロファイルとモニタージュ	伴 夏男		講義45分，質疑15分，演習30分
5	令和5年	2月8日	17:00 - 18:30	土構造物と地盤のモニタリング	丸山 泉		講義45分，質疑15分，演習30分
6	令和5年	3月8日	17:00 - 18:30	地盤と構造物の支持力と沈下	安原一哉		講義45分，質疑15分，演習30分
7	令和5年	4月12日	17:00 - 18:30	擁壁の安定	西村真二 (地盤品質判定士会)		講義45分，質疑15分，演習30分
8	令和5年	5月10日	17:00 - 18:30	豪雨と液状化対策： 地盤改良と地盤補強	岸田隆夫		講義45分，質疑15分，演習30分
9	令和5年	6月14日	17:00 - 18:30	地盤環境対策： 土壌汚染と廃棄物	小林 薫 (茨城大学)		講義45分，質疑15分，演習30分
10	令和5年	6月28日	17:00 - 18:30	技術者の倫理	岸田隆夫		講義45分，質疑15分，演習30分

「ICRT & DX 講座」 FY2022 プログラム 担当責任者：須田裕之副代表理事

回数	年	月日	時間	課題	担当講師		備考
					主担当	副担当	
1	令和4年	10月25日	15:00～16:30	インフラ分野におけるICRTおよびDXの概要(政策および技術動向)	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分
2	令和4年	11月29日	15:00～16:30	情報システムとその考え方(アクセシビリティとユーザビリティ)	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分
3	令和4年	12月20日	15:00～16:30	技術者倫理(個人情報保護とセキュリティ)	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分
4	令和5年	1月31日	15:00～16:30	要素技術各論(1)データベース技術と空間情報整備	中村健太郎		講義45分, 質疑15分, 演習30分
5	令和5年	2月28日	15:00～16:30	要素技術各論(2)モニタリングと情報プラットフォーム	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分
6	令和5年	3月28日	15:00～16:30	要素技術各論(3)センサ・制御技術とロボティクス	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分
7	令和5年	4月25日	15:00～16:30	要素技術各論(4)ネットワーク技術とヒューマンインターフェース	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分
8	令和5年	5月30日	15:00～16:30	インフラ分野におけるDXガイドラインから(1) ー組織内活用ー	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分
9	令和5年	6月27日	15:00～16:30	インフラ分野におけるDXガイドラインから(2) ーサービス提供ー	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分
10	令和5年	7月25日	15:00～16:30	まとめと今後の課題	須田裕之		講義45分, 質疑15分, 演習30分

グランパ・カズ塾 実施状況報告

(2022/8/24)



- ・期間：2022/1/28～6/24（1～1.5時間）9回
- ・対象：県内の中堅企業（2箇所+Teams）
- ・受講者：13名（23歳～59歳）、経験年数：0～35年



- ・講師：3名（安原塾長・伴理事・岸田）
- ・特別講師：2名（オンライン・ビデオ）

1

1

アンケートの結果(1)

- ・実施：第9回終了後、参加者13名全員から回答
- ・質問項目と結果概要（5点満点）【1-3.全体：4.23】
 - 1.開催方法：4.01
 - 2.開催プログラム：4.52
 - 3.各回の宿題：4.15
 - 4.自由記述：（多数）

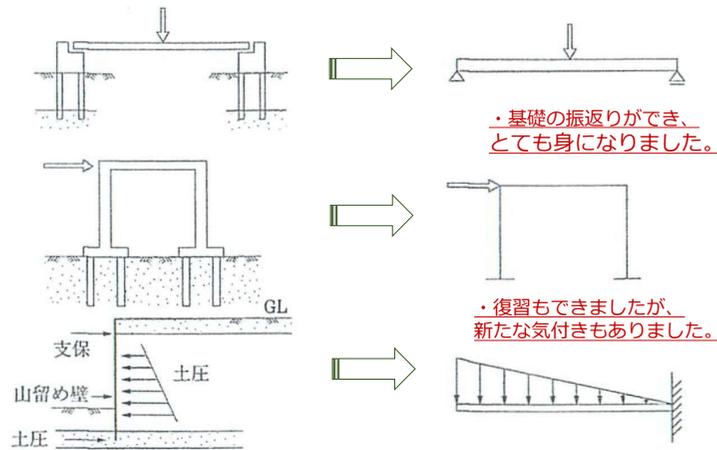
1. 開催方法 (1)評価
-
- (1)ハイブリッド開催：3.69 ⇒ できれば対面で！
- (2)講義資料の事前（予習1週間）配付：4.38
- (3)班分け（業務経験で3班に）：4.00
- (4)開催金曜日・17:00～18:00(18:30)：3.77 ⇒ 花金は？
- (5)開催時間の長さ：4.08 (6)コロナ対策：4.15

2

2

地盤工学基礎(#1-3)

地盤の課題と構造物の課題の相似性



3

3

(3)-1 「倫理綱領」を体して社会貢献

技術者倫理(#4・5)

－「忘れられた日本人」の宮本常一の例：再度自分の目標「あるく・みる・きく」－
他者を尊重・謙虚！ を確認できた。

- ① 年譜：1907(M40) 山口県周防大島の農家の長男生、1924大阪通信講習所卒、1927天王寺師範学校二部卒、1927-1939大阪府下小学校教諭、1939-1961渋谷敬三のアチック・ミュージアムでフィールド調査、1944堺大空襲で採取ノート100冊、原稿12,000枚、写真多数焼失、1960東洋大学で文学博士、1964-1977武蔵野美術大学で講義、1981(S56)死去（享年73歳）生涯で「著作集46巻」他多数を執筆



http://www.artfarm.or.jp/25th/detail/b_idou.html

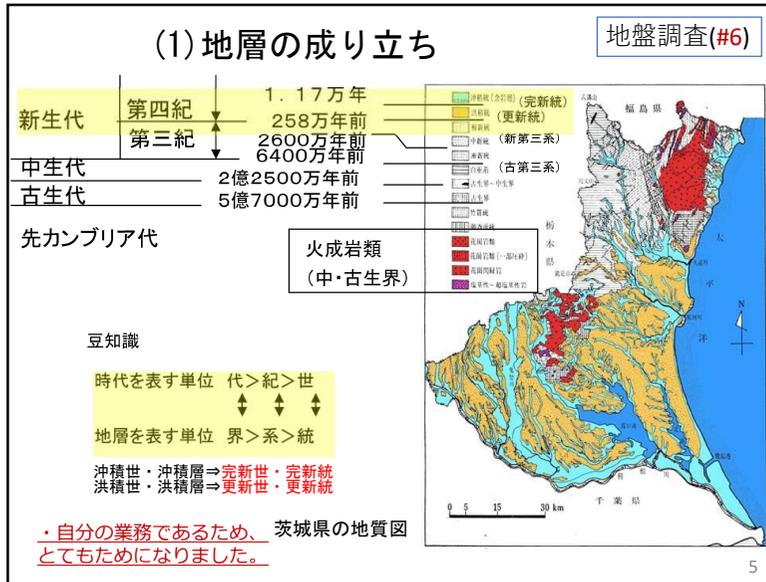
- ② 歩く：年200日フィールド調査、16万kmを踏破、訪れた村3千以上、泊まった民家1千軒超
- ・「土佐源氏」：土佐橋(ゆず)原村橋の下に住む盲目の女も皆優しいええ女じゃった！ 馬喰の「色懺悔」
 - ・「梶田富五郎翁」：対馬浅(あざ)藻の周防大島出身世の中で一番偉いのが人間のごです！ の漁民「築港譚」



梶田富五郎翁
(佐野真一著「宮本常一が見た日本」)

4

4



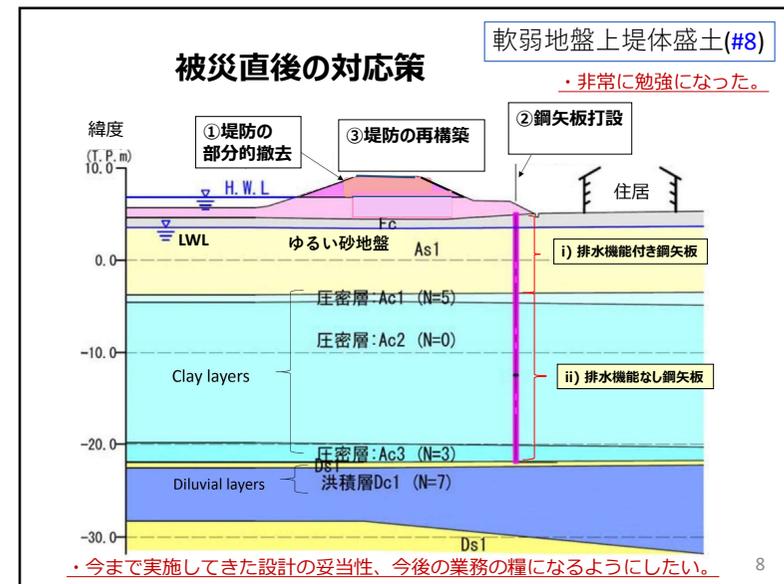
5



6



7



8

4-2 すべり崩壊被害の復旧対策

(1) 谷埋め型盛土法すべり崩壊復旧対策事例

大規模盛土造成(#9)

・現時点、公私ともに一番タイムリーな課題です。 被災時

復旧後 ・施工条件のお話が聞けて良かった。

施工中

※【写真】パシフィックコンサルタンツ(株) 9

アンケートの結果(3)

3. 各回の宿題 数字：評価点 【全体4.15】

開催 1 週間前に講義資料を配付、併せて予習型宿題

(1)課題の内容：4.00 ・自分の言葉で書き、話すことで理解度を確認できました。

(2)課題の難易：4.00

(3)レポート作成時間：3.69

(4)講師コメント：4.92

・大勢いるなかでちゃんと個々が成長できるシステムで、非常に勉強になりました。

・宿題は今回の方法がベストだと思います。

・非常にきめ細かくコメントを頂いた。

⇒ ①宿題を介して参加者・講師間コミュニケーションが向上
②時間が掛かる予習型宿題は作成時間への要配慮
③参加者業務の兼ね合いで過負荷の可能性に配慮

10

宿題回答とコメント例

例-1 (Y班)

例-2 (B班)

・(講師の)考えに触れられとてもためになります。

No.	回答者(A)	講師(B)	B/A
1.(Y班)	7行	12行	1.71倍
2.(B班)	8行	21行	1.75倍

11

2022(R.4)年度「エルリ塾」の予定

a. 「基礎地盤・土構造物講座」
(「グランパ・カズ塾」PART 2)

- ・初学者・復習されたい方を支援
- ・講義、演習、できれば実習を含む

安原代表理事 他

b. 「ICRT & DX 講座」

- ① Internet of Things
- ② Information・Communication・Robot Technology
- ③ Digital Transformation

の習熟を目指す方を支援

- ・実務での応用事例を含む

須田副代表理事 他

12

2022(R.4)年度「エルリ塾 a. b.」講師募集

- a. 「**基礎地盤・土構造物**講座」
b. 「**ICRT & DX** 講座」

是非、会員から講師を！

詳しくは、LRRIからのご案内（8/3）をご覧ください！

【報告】

事務局：伴理事・岸田

2023(R.5)年度「資格試験支援コース」に向けた
「**情報交換会**」を、2022年度に開催

- ・技術者の責務：専門分野での新しい知見と他分野の広い知識を**継続的に学習**して、職業上の見識を高める。
- ・LRRIとして、上記a.やb.の**講座を開催**して支援
- ・更に、**資格試験**を通じて、継続教育を支援するべき
- ・一方、資格試験の**制度**や試験**内容**が、近年、**激変**
- ・会員間で**最新情報を共有**して、効果的コースを**構築**

13

13

お疲れ様でした！

・社員の積極的な姿勢を見せられ、
自分も頑張らねばと感じました。
今年のRCCMを申込みました。

最終 第9回さよならスナップ



門田 外部講師



安原 講師
(塾長)



伴 講師



西村 外部講師



岸田



・講師を務めることができ
勉強になりました！(岸田)

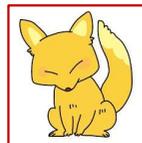
楽しい経験、ありがとうございました！また、お会いしましょう！！

14

14

- ・会員の皆さまには、引き続きご支援の程、
よろしくお願い申し上げます。

ご清聴、ありがとうございました！



15

15

16